

27年度 数学科

教科書選定の観点

- (1) 数学科の目標を達成するために、基礎的・基本的な知識・技能等の内容の確実な習得を図るための工夫・配慮がされていること。
- (2) 数学的な思考力・判断力・表現力等を育成し、言語活動の充実を図るための配慮がされていること。
- (3) 事象を数理的に考察し表現する能力を高め、生徒が意欲的・主体的に学ぶことができるよう問題解決的な学習活動が展開しやすいこと。
- (4) 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、それらを活用して考えたり判断したりできるように工夫・配慮がされていること。
- (5) 数量や図形などに関する基礎的な概念や原理・法則の理解を深め、数学的な表現や処理の仕方を習得する内容になっているとともに、演習問題について配列・分量・難易度が適当であること。
- (6) 生涯にわたって学び続ける態度を育めるよう、探究意欲を高める工夫や、学んだことを活用して、さらに発展的な学習につながるよう考慮されていること。
- (7) 単元構成の系統性・発展性や他教科、道徳、総合的な学習の時間、特別活動、他校種、また、環境教育、情報教育、生き方探究（キャリア）教育等の教育課題との関連について配慮がされていること。
- (8) 基本的人権の尊重及び道徳性の育成の視点からの内容が積極的に取り上げられ、人権教育や道徳教育の推進に向けて工夫や配慮がされていること。
- (9) 表記や表現について、文章や写真・図形等が適切かつ正確で使いやすいことに加え、ユニバーサルデザインの観点から文字の大きさ、見えやすい色の使用及び紙面の構成などについて配慮がされており、造本についても装丁や編集が適切なものであること。